

どこよりも「室名札」に誇りを持ち どこよりも「最短」でお届けし
どこよりも「楽しく」笑顔で仕事をするそれが株式会社 フジタです。

フジタがご提案した納入事例やサインの様々な事を情報誌を通して、ご紹介致します。

納入
実績

御坊市立 湯川中学校

サイン一式を納入しました。

和歌山県御坊市に納入をさせていただきました「御坊市立 湯川中学校」をご紹介します。

設計段階から 弊社の木製プレートをベースとして設計事務所様に図面協力をしておりましたので、ほとんどの室名札やピクトサインは規格の製品でお納めすることが出来たのですが、一部の製品は設計事務所様のこだわりもあり別注仕様で納入致しました。

まず今回の現場で初めての試みだったのが、現場で作っていただいたステンレスの枠の中に木製プレート FW200 をセットしたピクトサイン。ステンレスと木製の組合せは弊社の規格には無いのですが、無機質なガラスブロックやステンレスと木質が以外にも(?)よく合うことに驚きました。写真では少しわかりにくいですが、ピクトサインが中央ではなく少し入口側に寄せて設置されていることにも、設計士さんや現場のこだわりを感じます。

また案内板におきましても、何度も原寸原稿を提出し、本体サイズやレイアウト・文字の大きさなどを入念にチェックの上ご承認をいただきました。この案内板はクラスルーム等移動する可能性がある部屋名を、マグネットシートで移動ができるタイプの案内板です。

弊社の通常の仕様は、木枠の内側上・下にミゾを加工し 前面の保護アクリルをケンドン式で取り外しをする仕様になっているのですが、今回 サイズが大きかったため化粧ビスの方法で脱着をする仕様になりました。アクリルを化粧ビスで取付することはよくありますが、木枠(弊社 TW案内板)と組合せて使用することは今までほとんど無かったので、板の厚みや化粧ビスの種類など色々試行錯誤をしながらの製作となりましたが、無事納入することができほっとしております。

日頃規格品の室名札やピクトサイン、案内板を納入することが大半である弊社では、こういった別注の製品にチャレンジすることができる現場は、とても貴重な場だと思います。勿論仕様を考えたり製作をしているときには、不安もあり規格品を製作するよりも労力を使うのですが、きれいに納まったときの満足感は現場ならではの楽しみです。

また設計事務所様やお客様の要望から、新しい製品が生まれるヒントにもなるのでこれからも別注品にチャレンジをしていきたいと思っております。

京都本社 今井一郎





納入レポ！「京都市立総合支援学校」

京都市東山区 京都でも有数の観光地の近くに立地する「京都市立東山総合支援学校」様に、学校銘板を納入させていただきました。

以前に マメ知識のコーナーで様々な銘板をご紹介しました。今回こちらに納入をした銘板は鋳物銘板です（金メッキ仕上）。
鋳物銘板とは、枠や文字をかたどった木型をつくりその木型に溶かした銅を流し込む方法で製作します。一台ごとに木型を製作するところから始めるため、まさに「一点もの」。
製造工程も多く 非常に手間暇かけて造られる銘板なのです。また、いわば銅の塊ですのでとても重厚感があり（実際にすごく重いです）学校の銘板としては最適だと思います。

取付をした当日 学校で何かのセレモニーがあったようで、興味津々の生徒さん達に見守られながらの施工でしたが、新しく設置された学校銘板を見て写メを撮ったり、すごくきれいと言ってくれる生徒さんがたくさんいらっしやあって、気に入ってもらえたようでとても嬉しいです。
3月末にこの銘板を施工したのですが、卒業する生徒さんを優しく見送り また4月になれば新入生を温かく歓迎するような、永く愛され親しまれる銘板であって欲しいと思います。

京都本社：今井一郎



今月の一枚



今から10年くらい前、あることを記念に植樹をした庭の2本の桜。植樹した当初はなかなか花をつけずいろいろ思い悩んでいたのですが、土を変えるなど工夫をしようやく3、4年前から花が開くようになりました。

今年は見事に満開です。

サクラの花が満開になるこのシーズンは、弊社にとって1月から3月にかけての繁忙期に終わりを告げるひとつの節目でもあります。ほっとするような、若干さびしいような微妙な感覚なのですが、...

逆にこれからの数か月間は新しいチャレンジができる時期でもあります。新しい試みが必ずしもすぐ実を結ぶわけではないですが、工夫をしようやく満開を迎えたサクラのように、前向きにチャレンジを続けたいと思います。

京都本社：今井一郎



NEWS! 「JAPAN SHOP 2016 展示会 出展」



会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
2016年3月8日(火)～11日(金)

2016年3月8日から3月11までの4日間、東京ビッグサイトに開催をされました「JAPAN SHOP 2016」展示会に出展を致しました。

年度末のたいへんお忙しい時期に、弊社ブースに足を運んでいただいた皆様本当にありがとうございました。

弊社ではだいたい年に6回程度各地域で開催される展示会に出展をしておりますが、今回出展を致しました「JAPAN SHOP」はその中でも最大規模の展示会です。

また弊社が出展をする展示会はサイン業者様や看板店様に向けた展示会が大半ですが、今回は出店社もご来場いただいたお客様も多種多様で、普段お話をすることのない業界の方と接することができ、とても勉強になったと思います。

これからもいろいろな展示会に出展し、非常にニッチな製品「室名札」を専門で作っているメーカーがあるということ、京都（東京）から全国に発信していきたいと思っています。





まめ知識コーナー

今回は「アクリル板の種類」



耐久性に優れ、加工がしやすいため幅広く活躍している素材のアクリル樹脂板。（正式名称はメタクリル樹脂板）アクリル樹脂板には大きく分けて2種類、「押し出し板」と「キャスト板」があります。見た目にはほぼ違いはありませんが、それぞれ特性が違います。フジタの商品も施す加工によって押し出し板とキャスト板を使い分けています。主に多いのが接着や加工のしやすい押し出し板で、レーザーでの切削加工をする場合にはキャスト板を使用しています。同じGFプレートのシリーズでも、GFプレートは押し出し板で、在空表示が付いているGFMプレートは切削加工を行うのでキャスト板を使用します。

押し出し板



粘土状のアクリル樹脂をローラーから押し出して作る製法。簡単な、穴開け、切削、折り曲げ等に、適しています。

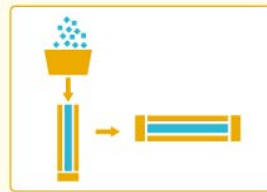
【長所】

- ・板厚の寸法精度に優れる
- ・接着しやすい。溶剤接着に向いている
- ・熱曲げ加工しやすい
- ・キャスト板より安価

【短所】

- ・色板の種類が少ない
- ・キャストに比べやや硬度が低いので反り易い
- ・溶液や薬品でクラック（ヒビ）が入り易い
- ・高速切削加工に向かない（過熱部分が融けるため）

キャスト板



2枚のガラスの間に原材料を注入し、硬化させて作る製法。大判サイズ、板厚の厚い板はキャスト板しかなく、アクリルの表面にレーザー彫刻、切削加工を施す場合に最適。

【長所】

- ・色板が豊富にある
- ・押し出しに比べて硬度がある（反り難い）
- ・押し出しに比べてクラックの混入が少ない
- ・電動ノコギリなど切削箇所熱の掛かる加工がしやすい
- ・板の厚みや大きさなどオーダーメイドが可能

【短所】

- ・押し出しに比べて溶剤接着に時間が掛かり接着強度も低い
- ・板の厚みが一定ではない
- ・高価である

押し出し板の主な商品



FAプレート
(アルミ枠サイン)



TWプレート
(木製枠サイン)



GFプレート
(アクリルサイン)



FKプレート
(スレンレス枠サイン)



RBプレート
(ラウンド型サイン)



特徴を生かしているね！



アクリル案内板
(点字なし)

キャスト板の主な商品



GAプレート
(ガラスアクリルサイン)



GFMプレート
(在空表示付サイン)



AKプレート
(階数表示サイン)



点字案内板
(点字触知図サイン)



LPプレート
(居室用サイン)



HPプレート
(居室用サイン)



彫刻文字



切文字・パーツなど

レーザー加工が得意！



京都めぐり

フジタの社は京都にあります。
 地元ならではの京都の魅力をご紹介します。
 今回ご紹介させていただくのは「^{ひえいざん}比叡山 ケーブルカー」です。



比叡山 坂本ケーブル 公式HP
<http://www.sakamoto-cable.jp/index.html>

5月の京都めぐりは「京都めぐり」と呼べるかどうかすごく微妙なところなのですが、比叡山のケーブルカーをご紹介します。

勿論 比叡山の山頂には天台宗の総本山、伝教大師最澄が開いた「延暦寺」があり、そちらもお薦めをしたいのですが、今回はその比叡山に向かう道中の「ケーブルカー」をご紹介します。それではなぜ「ケーブルカー」と言いますと、比叡山延暦寺に向かう2本のケーブルカーはそれぞれに日本一を持っているからです。

まず 京都側から山頂に向かう京福電鉄の叡山ケーブルは高低差。561mという日本一の高低差を誇る叡山ケーブルカーは、カーブあり、急傾斜ありで京都市内の絶好の展望が楽しむことができる他、春には桜や新緑を望むことができます。また ケーブル終点から山頂までは、ロープウェイで約3分間の空中散歩ができることも魅力だと思います。

もう一つは、滋賀県大津市の ケーブル坂本駅とケーブル延暦寺駅間を結ぶ坂本ケーブル。こちらは 日本最長 2025mを11分で結ぶ 距離の日本一です。パノラマワイドな窓をもつヨーロッパ調の車両からの琵琶湖の眺めは抜群です。途中、ケーブルカーには珍しい途中駅や橋梁、トンネルもあり 変化に富んだ景色が堪能できると思います。

サクラのシーズンは終わりましたが 次は新緑。のんびりとケーブルカーに揺られて様々な景色を堪能できる京都・滋賀の旅はいかがでしょう。

京都本社：今井一郎

フジタスタッフの広場

営業：高井慶一 入社6年目 京都本社勤務



これまでは京都本社で設計部に所属し、詳細図・キープランの作図をメインに行っておりましたが、このたび営業部に異動となりました。設計部にいたときから所属部署の枠を超えて、設計業務以外に製造・営業・施工etc・・・と、なんでもやらせていただいていたので、個人的に大きな心境の変化はありませんが、担当エリアが中部地方となり、関西弁丸出しの営業が通用するのはドキドキです。また、設計部にいたときよりも、お客様からの生の声がたくさん聴けるのはとてもありがたいもので、社内だけでなくお客様に教えていただく事も多く、毎日が学びとなっております。これまでの経験を活かし、お客様に必要としていただけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



カタログご請求・会社見学も随時受付しております。

詳しくはHPまで <http://www.fujitanet.co.jp>

総合カタログ配布中!



[Vol.14]

本社会社見学開始 受付中!



ECOへの取組み

フジタ京都本社にはソーラーパネルがあります!



3.11東日本大震災を契機に弊社でも、「限りある資源」を考え京都本社ビルに、ソーラーパネルを設置し、社内照明をLEDに変えました。オフィス内に電気使用量の測定器を取付けし、社員ひとりひとりのECOへの意識が高まっています。

お問い合わせ 株式会社 **フジタ** ご連絡を頂きましたら、担当者が迅速に対応いたします!

京都本社 担当：今井
 Tel. 075-592-7550 Fax.075-592-7524
 E-mail:info@fujitanet.co.jp



〒607-8147 京都市山科区東野森野町 46-4

東京支店 担当：鳥羽
 Tel.03-3556-6540 Fax.03-3556-6931
 E-mail:tokyo@fujitanet.co.jp



〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 プライムビル 6F